

低炭素電気普及促進計画書兼報告書

2020年 9月 17日

(提出先)
横浜市長

住所 東京都港区港南2-16-6

氏名 キヤノンマーケティングジャパン株式会社
代表取締役社長 坂田 正弘

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第146条の7第1項及び第2項の規定により、次のとおり計画を提出し、及び実施の状況を報告します。

1 特定電気事業者の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	キヤノンマーケティングジャパン株式会社 代表取締役社長 坂田 正弘	
主たる事業所の所在地	東京都港区港南2-16-6	
発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	
供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電力） <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電灯）	
事業の概要 (発電事業実施の場合は、発電事業の概要も記載)	小売電気事業 横浜市内への電力の供給を行っています。	
担当部署 連絡先	事業所名	品川本社
	部署名	OES企画課
	電話番号	03-6719-9890
	E-mail	denki-kouri@canon-mj.co.jp

2 対象年度

提出年度 (当年度) 2020年度

3 低炭素電気の普及の促進のための基本方針

弊社は、バランスィンググループに所属しており、下記の方針を掲げております。

1. 電源調達に係る取組方針
 - ・ 電源構成において、天然ガス/都市ガス利用の可能な限りの拡大を図ります。
 - ・ 自治体の一般廃棄物発電や再生可能エネルギーからの電力調達に努力します。
 - ・ 契約している発電所の運転効率が高まるような契約を指向します。
2. お客様への取組方針
 - ・ お客様の省エネルギーに資するためのデータ提供等を推進します。
3. その他の温暖化対策に係る取組方針
 - ・ 弊社事務所内のエネルギー消費量を削減する努力を行います。

4 推進体制

<p>1. マーケティング統括本部 プロダクトマーケティング部門長</p> <p>2. オフィスデバイス企画部長</p> <p>3. OES企画課長</p> <p>4. 省エネ・低炭素推進担当（およびバラシググループ主幹事会社担当）</p>
--

5 低炭素電気普及促進計画書兼報告書の公表方法

公表の有無	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無
公表方法		

6 電源構成の公表状況

公表の有無	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無
公表方法		

7 電気需要者への低炭素電気の普及の促進に係る措置

<p>弊社は、バラシググループに属しており、直接的に発電設備を保有しておりません。従って、バラシググループ全体で契約している発電所に対しては要望の範囲になりますが供給パターンが指定できる発電所では可能な限り、熱効率が向上する供給パターンを採用するよう努めています。また、比較的大きな規模の清掃工場からの余剰電力を調達する等、供給電力の低炭素化を推進しています。</p>		
RE100に 対応した 電気の供給	対応の可否	<input type="radio"/> 対応可 <input checked="" type="radio"/> 一部対応可 <input type="radio"/> 対応不可
	備考	

8 電気の供給に伴い排出される1kWh当たりの温室効果ガスの量及び抑制計画

排出係数種別	前々年度	前年度	当年度	長期目標
	年度	2019年度	2020年度	2030年度
	実績値 [kg-CO ₂ /kWh]	実績値 [kg-CO ₂ /kWh]	計画値 [kg-CO ₂ /kWh]	計画値 [kg-CO ₂ /kWh]
基礎排出係数		0.499	0.447	極力低減
把握率 (%)		100	—	—
調整後排出係数		0.449	0.398	極力低減
メニュー別排出係数				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
前々年度の排出係数 に対する前年度の 排出係数の増減理由				
排出係数の抑制措置 のための取組	契約先発電所の熱効率向上に向けて、より効率の良い運転・制御方法について協議・検討を推進します。			

9 電気の供給に伴い排出される二酸化炭素の量

排出区域	前々年度	前年度	当年度
	年度	2019年度	2020年度
	実績値 [t-CO ₂]	実績値 [t-CO ₂]	計画値 [t-CO ₂]
全国総量		29312	36337
市内		1344	1968

(A4)

10 電気の調達実績

調達実績	前々年度		前年度	
	年度		2019年度	
	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]
調達電力量 (総量)		—	50169	—
再生可能エネルギー (FIT電気除く)			1856	3.70
太陽光				
風力			1401	2.79
水力			455	0.91
その他 ()				
再生可能エネルギー (FIT電気)			6829	13.61
太陽光			214	0.43
風力			20	0.04
水力			4688	9.34
その他 (バイオマス)			1907	3.80
未利用エネルギー			330	0.66

11 調整後二酸化炭素排出量の算定に用いた国内認証排出削減量等

項目	前々年度		前年度	
	年度		2019年度	
	実績値 [t-CO ₂]		実績値 [t-CO ₂]	
削減相当量				0

12 再生可能エネルギー・未利用エネルギーを利用した電気及び国内認証排出削減量等の調達の促進に係る取組の実施状況及び計画

指令値にて稼動する契約発電所においては可能な範囲で高効率化運転となる（負荷率の高い）指令を指向し、排出係数の削減を目指します

13 その他の低炭素電気の普及の促進に係る措置

現状、特になし